

福井豪雨・美山、新潟中越地震・長岡 被災児童いきいき交流 長野でキャンプ

昨年の福井豪雨や新潟中越地震で自然災害に遭った被災地の子どもたちを対象にした「やすおかふれあい子どもキャンプ」が二十九日から二泊三日の日程で、長野県泰

阜村で開かれた。美山町の児童十一人が招待され、魚のつかみ取り体験や川遊びなどで自然を満喫した。

同キャンプ実行委と同村を拠点に活動するNPO法人グリーンウッド自然体験教育センターが、自然災害に遭った児童たちにもう一度自然の素晴らしさを知ってもらおうと企画。美山町の十一人のほか新潟県長岡市から二十二人、地元泰阜村の児童十一人が参加した。

渓流を利用したアマゴのつかみ取り体験では、児童たちは水しぶきを上げて魚を追いかけていた。夜には満天の星空の下、キャンプファイアールをして歌や踊りを楽しみながら交流を深めた。参加した児童たちはすっか



川遊びを楽しむ児童たち＝長野県泰阜村

り仲良しになり「川遊びが楽しかった。また来た」と満足げ。キャンプスタッフは「災害に負けず楽しんでる子どもたちを見てうれしい。みんな頑張れ」とエールを送っていた。